

**2014年 1月改訂 第5版
*2005年 10月改訂
薬効分類 漢方製剤

27

日本標準商品分類番号875200
承認番号等
(61AMY)0396 (薬価基準収載)
薬価収載 1986.10 販売開始 1987.01

ケイ シ カ カッコントウ
〔東洋〕桂枝加葛根湯 エキス細粒

**【組成】

本剤は、桂枝加葛根湯の水製エキスに賦形剤(トウモロコシデンプン)を加えて製したものである。

本剤6.0g中

局外生規ケイシ・・・4.0g 生ショウキョウ・・・4.0g

日局シヤクヤク・・・4.0g 日局カンゾウ・・・2.0g

日局タイソウ・・・4.0g 日局カクコン・・・6.0g

上記の混合生薬より抽出した桂枝加葛根湯の水製エキス4.0gを含有する。

【性状】

本品は、褐色の細粒で特異なおいと味を有する。(天然原料を使用するため、色調、味、においがロットにより若干異なることがあります。)

医薬品識別コード: TY-027

【効能・効果】

身体虚弱なものの風邪の初期で、肩こりや頭痛のあるもの

【用法・用量】

通常 大人 1日 3回 1回 2.0g(1包)を空腹時経口投与年齢症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

1) 本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。

2) 本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。

3) 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

2. 相互作用

併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
(1)カンゾウ含有製剤 (2)グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤	偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパチーがあらわれやすくなる。(「重大な副作用」の項参照)	グリチルリチン酸は、尿細管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

1) 重大な副作用

①偽アルドステロン症:低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察(血清カリウム値の測定など)を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。

②ミオパチー:低カリウム血症の結果としてミオパチーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。

*2) その他の副作用

	頻度不明
過敏症 注1)	発疹、発赤、そう痒等

注1) このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

6. 小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない。[使用経験が少ない]

7. その他の注意

湿疹、皮膚炎等が悪化することがある。

【取扱い上の注意】

薬の品質を保つため、直射日光を避け、できるだけ湿気の少ない涼しいところに保管してください。

【包装】

500g, 2.0g×252包(分包品)

【参考】

原典: 傷寒論

参考文献: 「漢方診療医典」大塚敬節・矢数道明・清水藤太郎共著

「漢方処方応用の実際」山田光胤著

「経験漢方処方分量集」大塚敬節・矢数道明監修

「漢方診療の実際」大塚敬節・矢数道明・清水藤太郎共著

**【文献請求先】

製造販売元 株式会社 東洋薬行

〒113-0033 東京都文京区本郷6-19-7

TEL 03-3813-2263 FAX 03-3813-0202

株式会社東洋薬行

東京都文京区本郷6-19-7